しろやぎさん通信

No.11(2020.2.19)

「出会えてよかった！」と言ってもらえる人に

今年度の１学期の始業式で、「出会いは奇跡的！その出会いを大切に！」という話をしました。奇跡的な確率で出会った今のクラスも、あと約１か月で解散です。「最高の出会い」になりましたか？あなたは、クラスの仲間から「君に出会えてよかった！」と言ってもらえますか？それとも、その反対で、相手の気持ちを考えずに、自分勝手に行動したり、人の心を傷つけたりして、「最悪の出会いだった」と言われてしまうということはありませんか？やはり、人間なら誰しも、前者の「君に出会えてよかった！」と言ってもらいたいものです。

では、どうすれば「出会えてよかった！」と言ってもらえる人になれるのか？どうしておけば「出会えてよかった！」と言ってもらえたか？嫌われたくないからという思いだけで、ただただ友だちに合わせてしまったり、友だちの良くない行動まで許してしまい、都合のいい無責任な言葉ばかりかけていたりしたのでは、あなたにとっても、友だちにとっても「いい出会い」にはなりません。一人ひとりの違いを認め合い、足らないところを補い合い、たまにぶつかり合うことがあっても、それぞれの成長につなげていくことができれば、「いい出会い」であり、「君に出会えてよかった！」と、お互い言い合えるのだと思います。

先日、ご逝去された野村克也さんへ、元ヤクルトスワローズで活躍された古田敦也さんが、次のような追悼メッセージを贈られていました。「時に厳しく、時に優しく本当に指導していただいたからこそ、今の自分がある。なければプロ野球で活躍できていない。」と。また、昨年の８月頃に「同期を想う」というＪＴのＣＭが、テレビでよく流れていました。同期入社の二人がぶつかり合いながら、前を向いて進んでいくというストーリーが描かれていました。その歌詞を紹介します。

「同期を想う」

たまたま隣に　座っていただけ
たまたま同じ　チームの一人
趣味も違う　性格も違う
特技も違う　欠点も違う

誰とでも　すぐに話せるアイツと
じっくり考えてから　動き出す俺
不思議なくらい真逆な　デコボココンビ

そう　だからこそ　激しくぶつかる
ライバルみたいに　はねつけあって
アイツのことを　理解できずに
自分の方が　正しいと思ってる

どちらかと言えば嫌いなやつ
本当ならば仲良くならない
なのになのになのになのに
デコボコがハマれば　楽しくて
行こうか

一年間の締めくくりの今、もう一度、仲間との関わり、自分自身の言動を振り返り、「新たな出会い」に是非、生かせてください。

やぎ校長より